

令和7年度 第2回 鴨川観光プラットフォーム株式会社 取締役会 議事録

■開催日時・場所・出席者

日 時：令和7年6月27日（金）13時30分～14時30分

場 所：鴨川市役所 4F(404)会議室

出席者：以下のとおり

【鴨川観光プラットフォーム株式会社】

No.	氏名	備考
1	鈴木 健史	代表取締役社長
2	久根崎達郎	取締役
3	平川 潔	取締役
4	刈込 信道	取締役事業推進統括(兼)事業部門長
5	小粒 哲也	職員（管理部門長）
6	嶋津 彰一	職員（DMO企画部門長）
7	清水 明子	職員（ふるさと納税部門長）

■配布資料

1. R7年度5月事業報告

- ・事業部門R7年度5月事業報告
- ・DMO企画部門R7年度5月事業報告
- ・ふるさと納税部門R7年度5月事業報告・R7年5月考察

■会議要旨

1. 開会（13時30分）

刈込事業推進統括より、開会の挨拶と配布資料の確認がなされた。

2. 鈴木代表取締役社長より、市長に提出した要望書に対して回答があった旨報告がなされた。

- ・市長に提出したふるさと納税の受託業務に関する要望書について回答があった。率の改定については、令和5年度下半期が50%を超えているため見送るということであるが、本件については引き続き注視していきたい。

続いて会議開始指示がなされた。

3. 報告事項

(1) R7年度5月事業報告

- ・刈込事業推進統括(兼)事業部門長より、事業部門の報告がなされた。
- ・嶋津DMO企画部門より、DMO企画部門の報告がなされた。
- ・清水ふるさと納税部門長より、ふるさと納税部門の報告がなされた。

(2) R7 年度現況の報告

- ・刈込事業推進統括より、R7 年度現況の報告がなされた。

(3) 報告事項等について質疑

- ・市長に提出した要望書のうち、担当課の変更についての回答は如何か。
→担当課の変更についての回答はまだ無い。
→新市長のもと来年度から組織の大幅な見直しを行う予定との話もある。
- ・花火大会の告知について、PR TIMES の反響は如何か。
→掲載してすぐに発数の間違いなどがすぐに話題となり、見られてはいることは認識した。掲載料 3 万円の価値はあると思われる。
- ・市長とふるさと納税の楽天トラベルへの掲載料及びクーポン 800 万の増額について、景気対策のための 9 月補正予算での対応を協議していることを情報提供する。
- ・10 月からの観光協会と温泉旅館業協同組合の事務所統合について、予想される効果等は何か。
→試験的ではあるが、場所をプラットフォームに移して観光案内業務を一本化することによって、効率化が図られると考えられる。
- ・今後市に対して、ふるさと納税に関する事務の「さとふる」と「当社」との理想的な使い分けと、弊社の財源としての委託事業などを検討していただき、弊社としてもともに考えていく必要がある。
→率の改定について様子を見させてほしいという意味には、「さとふる」のウエイトが上がると全体的に見て率が下がると思うので、その分を弊社で使える予算に回せるのではないかとの考えもある。
- ・弊社の将来的な安定運営のために、市民会館の跡地利用として何らかのテーマパークや施設を計画し、管理運営を弊社が担うということは考えられないか。
→ノウハウを持たない領域に手を出すことは考えられない。日帰り温浴施設のようなものであればある程度の知識があるので可能かもしれないが。
→宿泊税を原資として、新しく利益を生み出し安定財源と成り得る事業に取り組んでいくことも必要ではないか。
→投資するのであれば、鴨川市に将来に渡る負の遺産を残さないよう、絶対に成功する投資でなければならない。
→市としては、あの場所に市が考える必要な機能や条件を示したうえで、弊社を含めた民間事業者に事業提案をいただくという手法を検討している。
→あの場所をどのように活用してゆくかについては、全国の道の駅やテーマパーク、DMO が管理している施設の事例等を参考に、今後継続して議論していく必要があるという認識で一致した。

4. その他

- ・次回取締役会について、下記のとおり決定した。

次回取締役会 7月25日(金) 13:30～

5. 閉会 (14時30分)

以上

以上、本取締役会議事の経過の要領及び結果が正確であることを証します。

令和7年6月27日

議長 鈴木健史

署名人 久根崎達郎

署名人 平川 潔

署名人 阿部信道